



今月ご紹介するのは、デュッセルドルフの誇るベンラート城です。フランスの建築家・造園家で、ドイツで活躍したニコラ・ド・ピガージュが、カール・テオドル（バイエルン選帝侯）の依頼によって夏の別荘・狩猟用の館として 1755 年から 1773 年、18 年がかりで建設しました。宮殿と言った方が似合うピンク色の壁面にグレーの屋根が特徴の後期バロック建築の建物で、室内装飾はフランス風ロココ調で眩いばかりの豪華さです。このベンラート城のメインの建物は Museum Corps de Logis という名称で博物館として公開されており、当時を忍ぶ調度品の数々が当時のままのインテリアと合わせて鑑賞できます。かつては使用人の住居であったという両翼の建物は、西側の方が自然史博物館、東側の方が庭園博物館として使用されています。自然博物館は 1929 年に自然郷土博物館として創設されたものが今日の基となっていますが、今では NRW 州の動植物の生態などをジオラマで紹介しています。庭園博物館は必見で、西洋の造園史を展望することができ大変興味深いものです。造園にかかわるあらゆるテーマを 2000 平米 41 室に展示しています。60 ヘクタールに及ぶ広大な庭園は外側を水郷で囲まれており、自然と人為的な計画が絶妙なハーモニーの造園で、そぞろ歩きだけでも素晴らしい経験になることでしょう。以下のような入場時間の制約があるために十分な自由時間が必要となりますが、デュッセルドルフでのお仕事の合間に少し時間の余裕がある方には是非お勧めしたいところです。

入場料は一日券が大人 14€。ドイツ語のガイド付きで、入場時間は火曜日と金曜日の 11 時、12 時半、14 時、16 時。水曜日と木曜日は 11 時、12 時半、14 時、16 時。土曜日と日曜日は 11 時、12 時半、13 時半、14 時、16 時に入場できます。英語のガイドは水曜日から日曜日の 15 時。中央の建物はガイドなしの入場できないため、入場時間は上記に従わなくてはなりません。付属する二つの博物館は上記の値段に含まれています。

一日券を購入しない場合は、中央の建物が 10€ 庭園博物館、自然史博物館 各 6€です。



お城の名称：Schloss Benrath（シュロス・ベンラート）ホームページは[こちら](#)から。

住所：Benrather Schloßallee 100, 40597 Düsseldorf（デュッセルドルフ市南部）

交通：Heinrich-Heine-Allee 駅から U71 で約 30 分。Schloss Benrath 駅下車。